

08

Carpentry

建築大工



木造の建築物を構築する優れた技能!

建築大工は、木造建築物の「墨付け(加工するための目印)」「木材の加工」「建方(土台や柱、小屋組を組み上げる棟上げまで)」「仕上げ材の取付け」などを行う職人のことです。木造建築物に代表される「家」は、人生で最も高額な買い物となります。その「家」が、建築大工の技術や技能によって着実に仕上がっていき、完成した時に家の持ち主である施主さんとともに喜びあうことができるのは、建築大工の大きなやりがいです。

2019年大会 参加選手の状況

高等学校(工業系):	8人
高等学校(専攻科):	2人
都道府県職業能力開発施設:	26人
職業能力開発大学校:	6人
職業能力開発短期大学校:	5人
大 学:	2人
専 門 学 校:	2人

※2020年大会はコロナ禍により中止

POINT

練習で鍛えた自慢の腕と技で ものづくりを極める!

競技では、決められた時間内に木造小屋組の一部を製作し、出来栄を競います。作業は、「カンナによる部材の木ごしらえ」→「正確な墨付け」→「ていねいで素早い加工仕上げ」の順に進められ、最後に各部材を組立てて完成させます。部材の木ごしらえでは、断面の寸法の正確性が必要となるため、よく切れるカンナとその調整が重要です。

前川 秀幸 主査
職業能力開発総合大学校

